

樹木を育てて未来へ

平成20年5月18日に、強風で被害のあった、亀田中野町の亀田川水源林風倒木被災地において、函館市民の水瓶である亀田川の水源を守るため、市内の小、中学生など約500名が参加して、イタヤカエデやミズナラなどの苗木を、ボランティア植樹しました。

その後、植樹した苗木は、葉も芽生えてきており徐々に生長し、周辺には天然の幼木も生長してきています。

今回、苗木の生育状況について天然の幼木も含めて調査を行ったところ、11月の時点で植樹した苗木の活着率は約90パーセントと良好な状況にあります。また、約30科60種の天然の幼木を確認しました。今後も、下刈りなどを行いながら、水源林の再生に向けて見守っていきたいと考えております。

(順調に育つ植林地：11月撮影)



(元気に育つイタヤカエデ：8月撮影)

